

研修名 幼児教育・保育

平成30年6月21日(木) 13:30~16:00

講演・ワークショップ 「全体的な計画に基づく指導計画の作成」
「観察を通しての記録及び評価」

講師 大阪総合保育大学 大方 美香 氏

1、講演要旨

指針が新しくなったことにより、幼児教育の場でどういうことに着目し、指導計画を立てることが大切なのか講義を受ける。

その後、ワークショップでは5~6人で1つのグループを作り、1つの遊びからイメージする事を出し合う。そしてそれを項目ごとに分類することで、計画をたてる時の考え方や、時期など整理の仕方を学ぶ。

2、感想

この日は午後から研修に参加しました。午前中の講義の続きから話が始まったので午前中も参加出来ていたら、より詳しく知ることが出来たのかもしれませんが。それは少し残念でした。

大方先生の話はすごく具体的で分かりやすく自分の学びになりました。この時代に子どもたちが育っていく中で、大切にしないといけないなど最近保育しながら感じる事と、先生の話がつながり、“自分の感じていることは間違いではないな。”という確信やこれからの保育の方向性が自分の中で整理出来た様に思いました。

また、後半はワークショップでみんなで、「砂遊び」と「買い物ごっこ」についてここからイメージする事を出し合いました。“とにかく付箋に自分の思いつくことを書く”。このやり方がとても新鮮で、楽しく自由に思いを出し合えるやり方だと感じました。こうして出し合うことで整理して考えやすくなったり、気づかなかったことに気付ける機会になりました。

また、私の働く保育所では20代~50代まで幅広い年齢の保育士がいますが、1年目でも20年目でも気がねなく意見を出し合えるやり方として、機会があれば自分の園でも実践したいなと思いました。



講師 大阪総合保育大学 大方 美香 氏